







場面：脅征会と熊男の結託

| 番号 | 画面 | 内容・台詞 | 時間 |
|----|---|---|----|
| 1 |  | 脅征会小谷田組事務所。 外観。 小谷田と金子が歩いてくる。 小谷田「久しぶりだ」 金子「ええ」 | |
| 2 |  | 事務所内部。 小谷田と金子が入ってくる。 目の前の光景に呆然とする。 金子「あっ？」 小谷田「なんだよこりゃ」 | |
| 3 |  | 脅征会組員達が大勢気絶してぶっ倒れている。 散乱した短刀。 ソファには服が血で染まった高倉が気絶している。 テーブルには短刀が突き刺された代紋。 | |
| 4 |  | 小谷田「どこのものの仕業だ」 金子がテーブルの代紋のところに行く。 金子「神罰ってありますぜ」 小谷田「意味が分からん」 | |
| 5 |  | 金子が高倉の様子を見る。 金子「血まみれなのに傷がないですぜ」 小谷田「なんなんだ……」 金子が高倉を揺さぶる。 金子「おい、おい、しっかりしろよ！」 | |





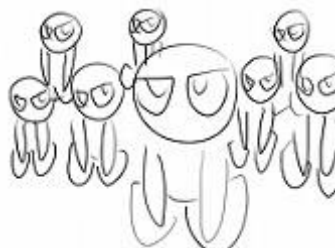
場面：脅征会と熊男の結託

| 番号 | 画面 | 内容・台詞 | 時間 |
|----|---|---|----|
| 6 |  | 高倉の気が付く。 高倉「うーん。はっ！」 | |
| 7 |  | 高倉がソファから飛び降りて床に座る。 高倉「おやっさん！ カシラ！」 | |
| 8 |  | 高倉「いつお戻りに？」 小谷田「今だ」 金子「誰も迎えに来ねえと思ったら」 高倉「そもそも、今日出てくるなんて……」 金子「馬鹿野郎、それくらい調べとけ！」 高倉「すみません」 | |
| 9 |  | 小谷田が組長席にドカッと座る。 小谷田「寝てる奴ら叩き起こせ！」 金子「へい！」 | |
| 10 |  | 金子が高倉を殴る蹴るする。 金子「早く起こせよ！」 高倉「へ、へい！」 | |






場面：脅征会と熊男の結託

| 番号 | 画面 | 内容・台詞 | 時間 |
|----|---|--|----|
| 11 |  | 高倉が倒れている脅征会組員達に、次々と蹴りを入れていく。 高倉「おめえら、寝てんじゃねえ！ 起きろ！」 脅征会組員「うぐっ」 脅征会組員「うぐっ」 | |
| 12 |  | 高倉が倒れている脅征会組員達に、次々と蹴りを入れていく。 高倉「起きろ！ 起きろよ！」 脅征会組員「うぐっ」 脅征会組員「うぐっ」 脅征会組員「うぐっ」 | |
| 13 |  | 高倉が倒れている脅征会組員達に、次々と蹴りを入れていく。 高倉「ほら、起きろってんだよ！」 脅征会組員「うぐっ」 脅征会組員「うぐっ」 脅征会組員「うぐっ」 | |
| 14 |  | 脅征会組員達が痛そうに起き上がる。 高倉「シャキッとしねえか！ 親っさんとカシラのお帰りだ！」 | |
| 15 |  | 脅征会組員達が正座する。 脅征会組員「親っさん！」 脅征会組員「カシラ！」 | |


場面：脅征会と熊男の結託

| 番号 | 画面 | 内容・台詞 | 時間 |
|----|---|---|----|
| 16 |  | 高倉が小谷田の前で姿勢を正して座る。 高倉「長い間、お勤めご苦労様です！」 高倉が深々とお辞儀する。 脅征会組員達「お勤めご苦労様です！」 小谷田「おう」 | |
| 17 |  | 小谷田「おめえら、この様は一体なんなんだ？」 | |
| 18 |  | 高倉「その、入間屋一家の助っ人に……」 | |
| 19 |  | 小谷田「入間屋一家だあ？ あそこは昔からただの旅館だろうが！ なんでやられた？」 | |
| 20 |  | 高倉「うちで新しく賭場を開こうと思ひまして、入間屋一家がやってる賭けねえ遊戯場が顧客確保の上で邪魔なんで、営業停止に追い込もうと……」 | |






場面：脅征会と熊男の結託

| 番号 | 画面 | 内容・台詞 | 時間 |
|----|---|---|----|
| 21 |  | 小谷田「馬鹿野郎！ あそこは堅気になってるけどなあ、江戸時代から続く老舗の一家だぞ！ 余計な真似しやがって！」 | |
| 22 |  | 金子「このボンクラが！」 金子が高倉を殴る蹴るする。 高倉「すみません！ すみません！」 | |
| 23 |  | 小谷田「おい、豊岡はどうした？」 | |
| 24 |  | 高倉「入間屋一家にいます。向こうにゃ東森がついていまして。パクられました」 | |
| 25 |  | 小谷田「馬鹿野郎！ よりによって、あの東森のガキに！」 | |






場面：脅征会と熊男の結託

| 番号 | 画面 | 内容・台詞 | 時間 |
|----|---|---|----|
| 26 |  | 金子「このボンクラが！」 金子が高倉を殴る蹴るする。 高倉「すみません！ すみません！」 | |
| 27 |  | 小谷田「その助っ人ってのはどんな奴だ？」 | |
| 28 |  | 高倉「頭に二本の角をつけた、鬼みてえな変な格好をした小娘です……」 | |
| 29 |  | 小谷田「ふざけるのも大概にしろ！」 小谷田が机を叩いて立ち上がる。 小谷田「脅征会の看板掲げた小谷田組が、そんな訳の分からん奴にやられたってのか？俺をからかう気か？」 | |
| 30 |  | 高倉「いえ……本当に……」 高倉が怯える。 脅征会組員達「本当なんです……」 脅征会組員達が怯える。 | |






場面：脅征会と熊男の結託

| 番号 | 画面 | 内容・台詞 | 時間 |
|----|---|---|----|
| 31 |  | 小谷田「小娘ってよ、どんくらいなんだ？」 | |
| 32 |  | 高倉「小学生……、たぶん9歳くらいの見 目で……」 小谷田「はあ？ 9歳だあ？」 | |
| 33 |  | 金子「このボンクラが！」 金子が高倉を殴る蹴るする。 高倉「すみません！ すみません！」 | |
| 34 |  | 脅征会組員「でも、とんでもねえくらい強え んですぜ！」 脅征会組員「ありゃ人間じゃねえ！ 銃で撃 っても効かねえんだ！」 脅征会組員「獣や鳥の格好した野郎も仲間 にいやがるんで！」 | |
| 35 |  | 高倉「俺は肩と腹を撃たれたのに、何故か気 絶してるうちに治っちまってる！ ただも のじゃねえんですよ！」 | |

場面：脅征会と熊男の結託

| 番号 | 画面 | 内容・台詞 | 時間 |
|----|---|---|----|
| 36 |  | 小谷田「なんでそんなのが入間屋一家に？」 高倉「わかりません！」 | |
| 37 |  | 金子が代紋を手にする。 金子「ここに『神罰』ってありますが。確か、入間屋一家の六代目が、信心深くて、神通力って超能力みてえなものに憧れているとか何とか」 | |
| 38 |  | 金子「修験道って言うんですかね、山を練り歩く修行をやっているってえのを聞いたことがあります」 | |
| 39 |  | 小谷田「まさか、呪術でもやって神様を呼び出した訳じゃあるめえ。そんなのはまやかした」 | |
| 40 |  | 高倉「じゃあ、助っ人の説明がつかねえ！」 | |

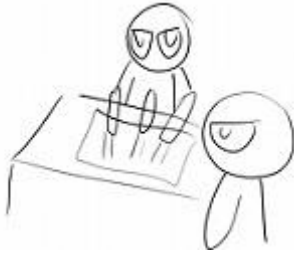
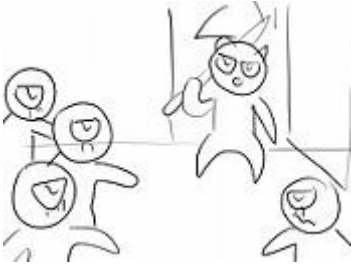

場面：脅征会と熊男の結託

| 番号 | 画面 | 内容・台詞 | 時間 |
|----|---|--|----|
| 41 |  | 小谷田「なににせよ、入間屋一家の助っ人にやられたとなっちゃ、黙ってる訳にもいかねえぞ」 その時、小谷田の電話が鳴る。 | |
| 42 |  | 小谷田「はい、小谷田ですが。え、絶縁？ どうしてでしょうか？ なんとか復縁を！ もしもし、もしもし！」 電話が切れる。 | |
| 43 |  | 金子「親っさん？」 小谷田「上からだ。切り捨てられたわ」 金子「どうして？」 小谷田「警察から脱退届が届いたらしい」 金子「そんなの小細工じゃないですか！」 | |
| 44 |  | 高倉「お、親っさん……」 | |
| 45 |  | 小谷田が何も言わずに拳銃を抜き、高倉を撃つ。 高倉「うぐっ！」 | |





場面：脅征会と熊男の結託

| 番号 | 画面 | 内容・台詞 | 時間 |
|----|---|--|----|
| 46 |  | 高倉が血まみれで倒れる。 脅征会組員達「ひいいいっ！」 脅征会組員達が怯える。 | |
| 47 |  | 小谷田「『脅し』を『征する』？ 結局は歴史の長え一家には尻尾巻くんかよ……」 | |
| 48 |  | 金子「親っさん、脅征会の後ろ盾がなきゃ、警察がついてる入間屋一家の方が有利ですぜ。不在中に勝手にやったことですし、手打ちに持ち込みましょう」 | |
| 49 |  | 小谷田「もう脅征会なんて関係ねえ。こりゃ小谷田組の意地の問題だ。入間屋一家に殴り込みすんぞ！」 金子「へい！」 | |
| 50 |  | 金子「おめえら、道具の準備しろい！」 脅征会組員達「へい！」 脅征会組員達が各々戦闘準備に取り掛かっていく。 | |



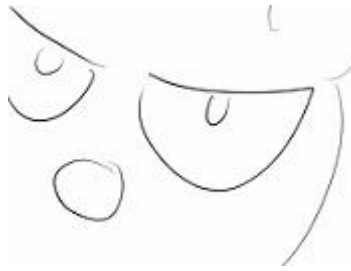


場面：脅征会と熊男の結託

| 番号 | 画面 | 内容・台詞 | 時間 |
|----|---|--|----|
| 51 |  | 小谷田「しかし、向こうに得体の知れねえ助っ人がいるとなると、ドスとハジキで通用するのか……」 その時、熊男の声。 熊男「俺が力を貸そう」 | |
| 52 |  | 金子「誰だ！」 | |
| 53 |  | 熊男が現れる。 脅征会組員達が狼狽える。 | |
| 54 |  | 小谷田「なんだおめえは？」 金子「変な格好しやがって。ここをどこだと思ってるんだ！」 | |
| 55 |  | 熊男「鬼神童女に潰された奴らが粋がってんじゃねえ」 | |


場面：脅征会と熊男の結託

| 番号 | 画面 | 内容・台詞 | 時間 |
|----|---|--|----|
| 56 |  | 金子「鬼神童女だと？」 | |
| 57 |  | 熊男「頭に二本の角を生やした鬼の娘よ」 | |
| 58 |  | 熊男「おめえら人間ごときが倒せる相手じゃねえぞ。奴は神だ。それも武州で一番強え、武州総鎮守だあ。皆殺しになるぞ」 | |
| 59 |  | 小谷田「そういうおめえは何者なんだ？」 | |
| 60 |  | 熊男「妖賊よお。神族と表裏一体、紙一重、日陰に生きる邪悪の権化だあ」 | |


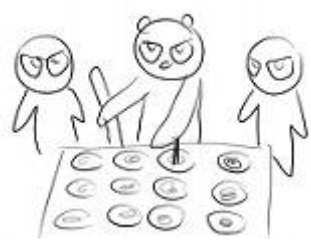

場面：脅征会と熊男の結託

| 番号 | 画面 | 内容・台詞 | 時間 |
|----|---|--|----|
| 61 |  | 金子「邪悪の権化……」 | |
| 62 |  | 熊男「おめえらの向こう側に回ってる鬼神童女にゃ恨みがある。血の盃を交わして俺の軍門に下るなら、力を与えてやろう」 | |
| 63 |  | 熊男「妖賊の血を飲めば、人知を超えた生命力を持つ半妖人となり、邪悪で強大な暴力を覚醒させることができる」 | |
| 64 |  | 金子「親っさん、こんな怪しい奴は信じられねえですよ！」 小谷田「いや……」 | |
| 65 |  | 小谷田「妖賊の、その半妖人とやらになったら、代償はあるのか？」 | |

場面：脅征会と熊男の結託

| 番号 | 画面 | 内容・台詞 | 時間 |
|----|---|--|----|
| 66 |  | 熊男「二度と人間には戻れん。そして、沸き起こる暴力衝動でよ、殺しをしなければやっられんようになるぜ。毎日一人は殺したくなる」 | |
| 67 |  | 金子「狂っていやがる……」 小谷田「面白えじゃねえか」 金子「親っさん！」 小谷田「嫌ならやめていいぜ」 | |
| 68 |  | 小谷田は脅征会組員全員の前に立つ。 小谷田「俺はこの妖賊とやらと組む。強制はしねえ。嫌なら手を上げろ！」 | |
| 69 |  | 脅征会組員達のうち、何人かが恐る恐る手を上げる。 小谷田がその組員達を射殺する。 脅征会組員達「ひいいいっ！」 | |
| 70 |  | 小谷田「強制はしねえが、辞退は反逆行為とみなす！」 | |

場面：脅征会と熊男の結託

| 番号 | 画面 | 内容・台詞 | 時間 |
|----|---|--|----|
| 71 |  | 金子「親っさん、ついていきます！」 | |
| 72 |  | 脅征会組員達「ついていきます！」 脅征会組員達「ついていきます！」 脅征会組員達「ついていきます！」 脅征会組員達「ついていきます！」 脅征会組員達「ついていきます！」 | |
| 73 |  | 熊男が小谷田に顔を近づける。 熊男「おめえ、反吐が出るくらい悪い奴だな。 気に入ったぜ」 小谷田「よろしく頼むわ」 | |
| 74 |  | 熊男は、脅征会組員達の人数分の盃に、自らの血を注いでいく。 | |
| 75 |  | 脅征会組員達が、盃を飲み干す。 | |

場面：脅征会と熊男の結託

| 番号 | 画面 | 内容・台詞 | 時間 |
|----|---|---|----|
| 76 |  | 熊男「今からおめえらは妖賊熊男党の一員となる。命令は上意下達、絶対厳守だ！」 脅征会組員達「よろしくお願ひします！」 脅征会組員達が深々と頭を下げる。 | |
| 77 |  | 熊男「戦争開始だ！」 | |
| 78 | | | |
| 79 | | | |
| 80 | | | |